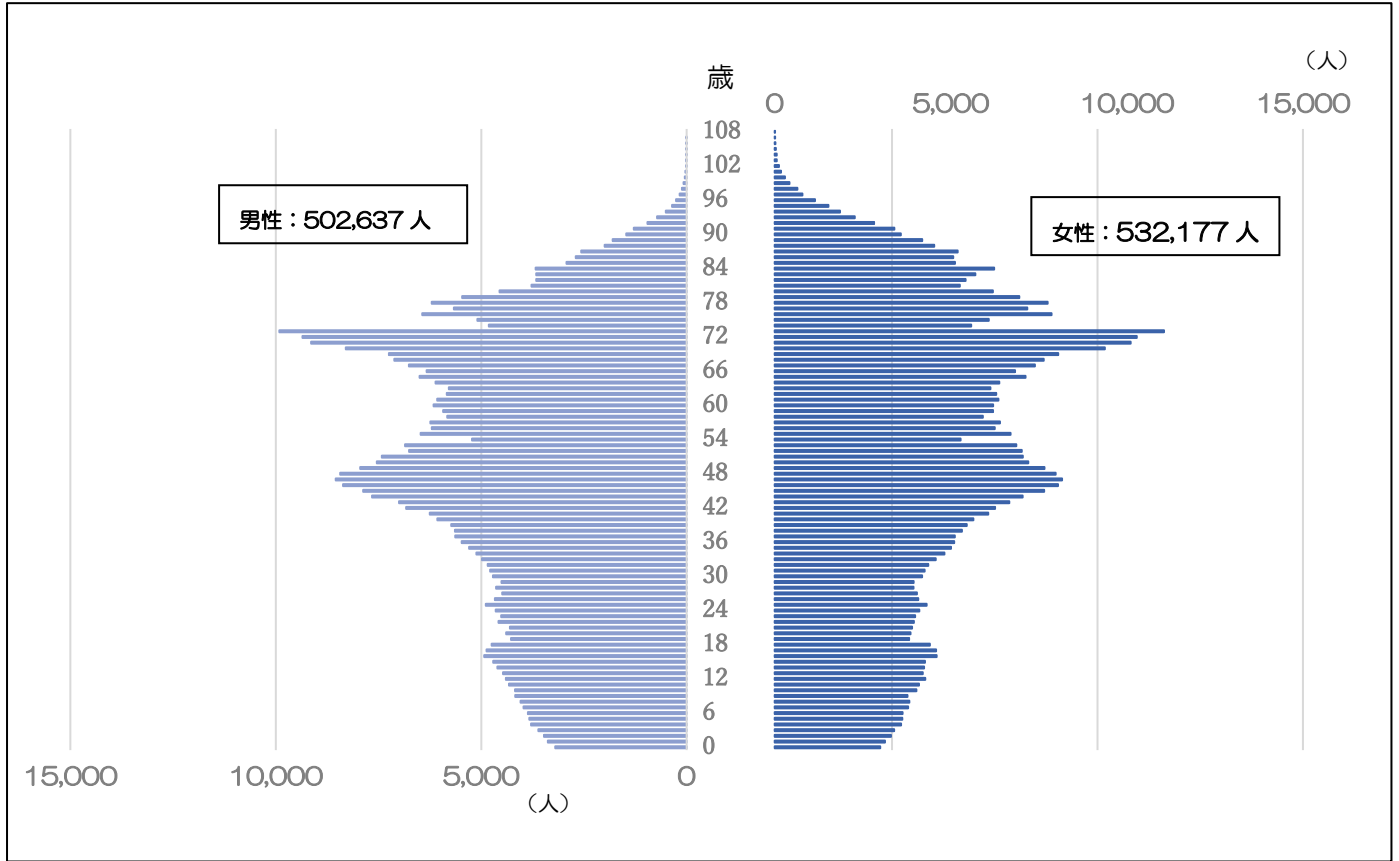


1

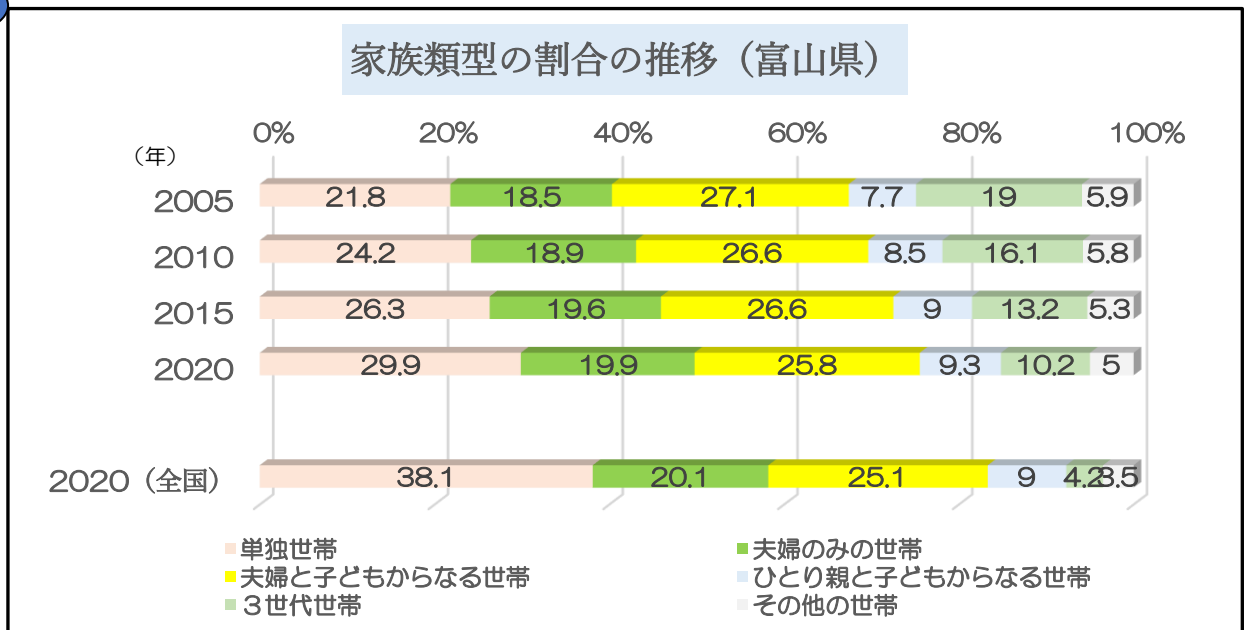
人口・世帯 ～少子化・高齢化～

1-1 人口ピラミッド（2020年富山県）



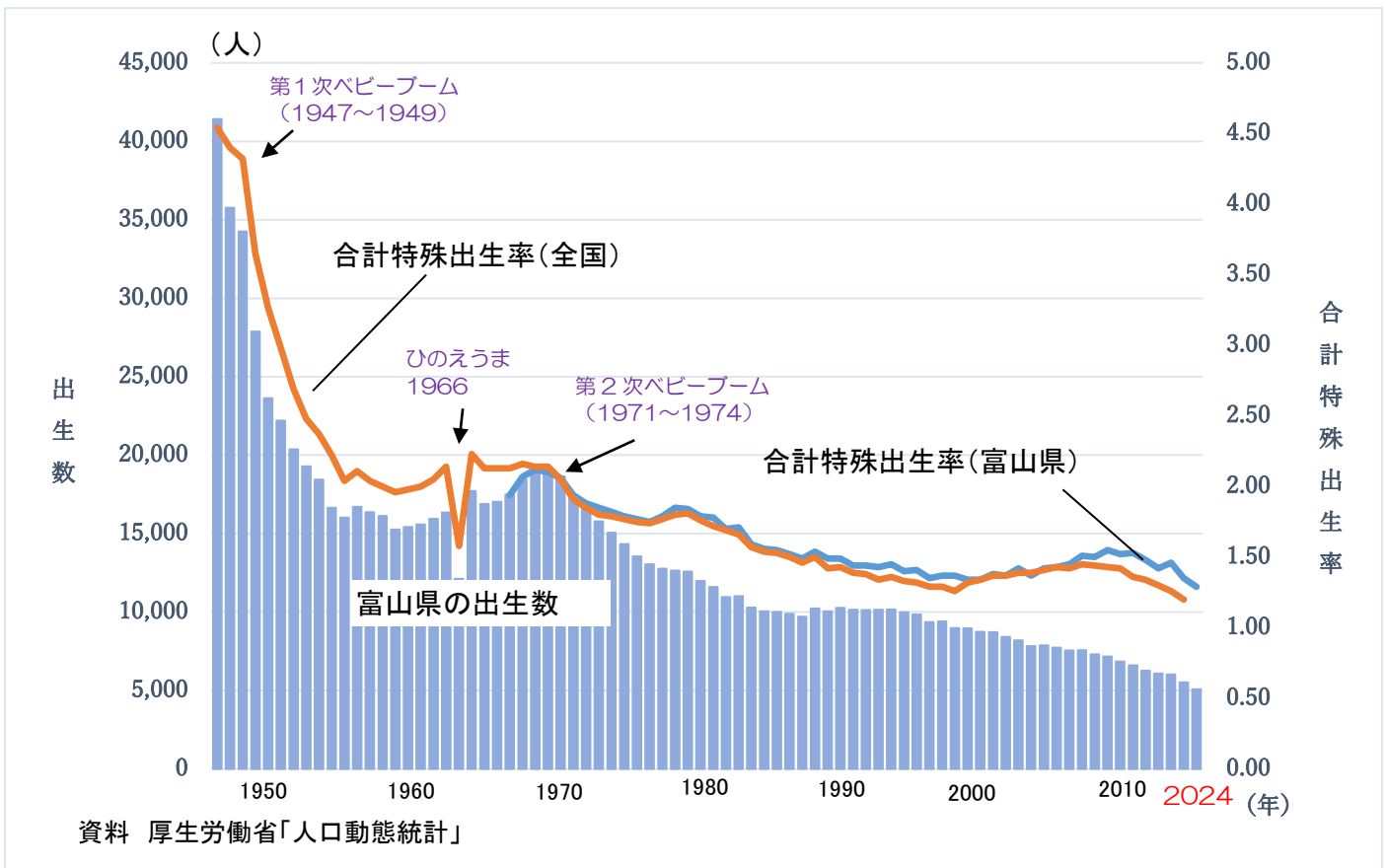
資料：総務省統計局「国勢調査」（2020年）

参考



資料：総務省統計局「国勢調査」（2020年）

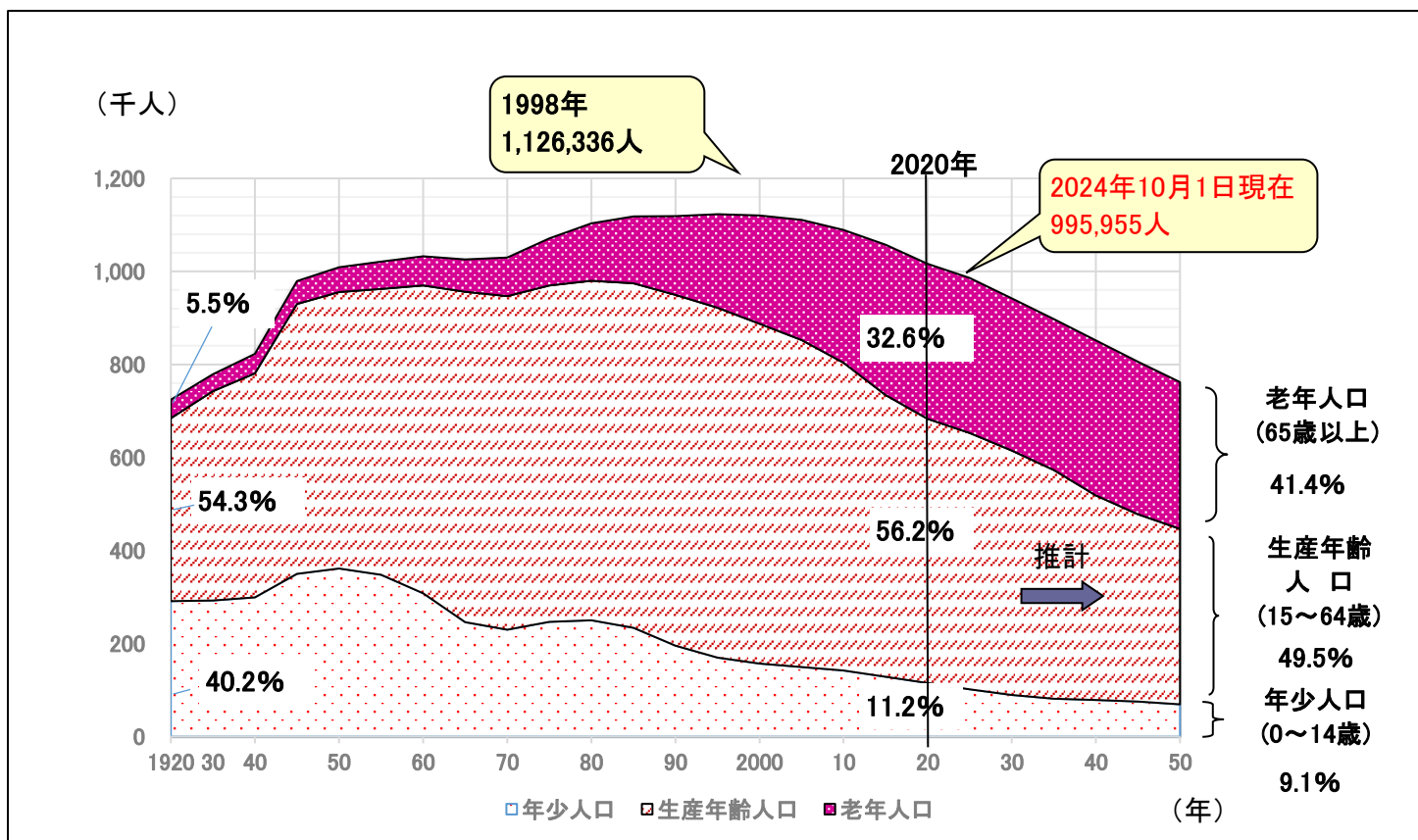
★1-2 合計特殊出生率の推移（富山県・全国）



合計特殊出生率: 15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性とその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

富山県の合計特殊出生率は1972年（2.12）をピークに低下傾向にあり、2024年の合計特殊出生率は全国1.15、富山県1.29でした。また富山県の出生数は、2024年に5,078人（2023年5,512人）で、長期的に減少傾向が続いています。

★1-3 年齢3区分別人口の推移（富山県）



資料 2020年までは総務省統計局「国勢調査」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口（令和5年12月推計）」2024年は「富山県人口移動調査」（注）2020年の人口構成比は不詳補完地値により算出

2024年10月1日現在の富山県の人口は995,955人（人口移動調査）で、1998年の1,126,336人をピークに減少傾向が続いています。

2020年の国勢調査によると（年齢不詳を除く）老年人口割合は32.8%、年少人口割合は11.3%です。全国を上回る少子化が進行する中、富山県は政策等による若年人口の増加を目指しています。